

海洋生物による事故が多発！

事例と対応

【事例】 遊泳者が海底に足をつけた際に右足に刺された感触があり、一緒に泳いでいた人も右手を何かに刺された。足元を確認したところ、オコゼが泳いでいた。刺された方は、顔色が悪くなり、吐き気を催した。

【対応】 すぐに海水浴場の管理所へ向かい救護員の処置を受け、救急搬送されたもの。点滴や塗り薬による治療を受け、命に別状は無かったもの。

応急処置例

【応急処置例】
刺された箇所を確認し、棘が残っていたら除去。
(通常は、棘は太く硬いので、皮膚内に残らない)
傷口を洗浄し、43℃前後のお湯に30分～90分温浴する。
病院へ行き、治療を受ける。

【身近な危険な海洋生物】
カサゴ、クラゲ、アカエイ、サメ、イルカ等

※上記海洋生物を見かけたら、むやみに近づかずに周囲に伝えましょう。



福井県のイルカ負傷事故関連⇒

◆遊泳中の事故防止 “3つの安心カン”

1 管（カン）理された海水浴場での遊泳

- ✓ 開設された海水浴場で泳ぎましょう♪
- ✓ 海水浴場の開設期間・時間を確認しましょう♪
- ✓ 監視員がいる海水浴場で泳ぎましょう♪

2 家族・友人・周囲・地域による監（カン）視

- ✓ 子供は目を離さないようにしましょう♪
- ✓ 周りの方の安全注意をよく聞きましょう♪

3 早めの帰還（カン）判断

- ✓ 荒天が予想される場合は浜へ戻りましょう♪
- ✓ 荒天時は自宅へ帰りましょう♪

海水浴場

海水浴場以外



各種情報サイト

海の安全情報

ウォーターセーフティ
ガイド

第九管区海の
手帳

発航前検査
チェックリスト

遵守事項



問い合わせ先：第九管区海上保安本部 海の安全推進本部（交通部安全対策課）

〒950-8543 新潟県新潟市中央区美咲町1-2-1 TEL 025-285-0118